

【各産別からの意見・要望】

戸丸協議委員（全電線）

2015 闘争方針について、原案賛成の立場で発言させていただく。具体的な取り組み項目として、賃金の引き上げについては、賃金構造維持分を確保した上で、実質生活を維持するための賃金引き上げを図るべく、JCM 方針を踏まえながら、十分な組織論議によって具体的な取り組みを決定していきたい。一時金についても、組合員の生活を守る観点から主張していく。

ワーク・ライフ・バランスの実現では、「過労死等防止対策推進法」に基づく長時間労働対策の強化の推進等を踏まえ、長時間労働是正などに取り組むとともに、「改正労働基準法」への対応については、猶予措置の対象となっている中小単組についても取り組みを進めていく考えである。

藤原協議委員（基幹労連）

原案に賛成の立場で、決意の一端を述べたい。基幹労連は、今次春季取り組みを2年サイクルの個別年度と位置づけ、「格差改善」を基本に、労働条件の「底上げ・底支え」を重要な取り組みの柱として、全力を上げて取り組んでいく。賃金や退職金については、業種別部会ごとに設定した「当面の目標」に向けた取り組みを強化し、産別のみならず大手組合によるグループ関連組合への支援を積極的に展開する考えである。

労働政策と両輪である産業政策に関しては、低廉で安定的な電力供給を早急に実現する必要があり、これまで以上に積極的な取り組みが求められている。

松原協議委員（電機連合）

原案に賛成の立場で、電機連合の決意を表明したい。電機連合では、賃金改善については「賃金決定の3要素」として、生計費、生産性、労働市場を分析し、具体的な論議を進めているところである。また労働協約項目についても、長時間労働の是正をはじめとした働き方改革により、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指し、すべての労働者がいきいきと働ける職場環境をつくるための取り組みを進めることとしている。加えて、非正規労働者を含む電機産業に働くすべての労働者の処遇改善への取り組みを推進することが求められていることを深く認識し、2015 闘争の取り組みを行っていききたいと考えている。

平野協議委員（JAM）

原案に賛成の立場で発言させて頂きたい。JAMでは、2014 年闘争の取り組みを継続していくことを基本とし、具体的な要求についても、賃金構造維持分に加え、過年度物価上昇分と生活改善分を勘案し9,000円の賃金水準の引き上げを要求原案とし、討議している。2015 年闘争の個別労使交渉は厳しいものとなることが予想される中、我々

のできることは「賃金水準要求の取り組みの徹底」、「共闘による相場形成の徹底」の二つである。

賃金の底支えについては、年齢別最賃協定締結といった取り組みが重要と考えている。ミニマム設定の取り組みは、個別賃金の取り組みとともに、有期雇用労働者の無期転換や中途採用者の水準設定として役立つだけでなく、同じ職場で働く非正規労働者も含めた社会的な賃金の底支えにもつながることから、一層の強化をお願いしたい。

中野協議委員（自動車総連）

原案に賛成の立場で意見表明したい。賃金引き上げについては、2014年春の取り組みにおいて、約6割の単組で賃金改善分を獲得することができた。2015年は、この起点をベクトルに変えていく重要な年であることから、継続して自動車総連全体で賃金引き上げに取り組むとともに、様々な観点から検討を進め、JCM方針を踏まえた要求基準の策定に尽力していきたいと考えている。

賃金格差の是正と賃金の底上げを重視した取り組みの着実な前進という観点では、人への投資に資するため、中小労組の交渉環境をいかに整備・構築していくかがポイントとなる。また、同じ職場で働く非正規労働者の処遇改善に向けても、賃金の底上げを含め、一層の前進を図っていきたい。

【本部答弁】

浅沼事務局長

各産別の置かれている状況を背景に、2015年闘争に向けた決意・意見を表明いただいたことに感謝申し上げたい。

賃金の引き上げについては、産別を超えた共通の思いとして、デフレからの脱却、経済の好循環への取り組み、さらには人への投資や実質生活を守るという観点で、2015年の闘争において、結果につなげていく必要がある。前回の賃金引き上げを単年度で終わらせることなく、継続することが重要である。

格差改善については、労働組合の社会的責任という観点からも、より一層の取り組みを図っていく必要がある。また、低廉で安定的な電力供給確保に関しては、ものづくりの強化の観点において、産業政策の取り組みを推進していく。

金属労協としての認識は完全に一致している。今春闘を、これまで培ってきたJC共闘の枠組みを最大限に生かしながら、一枚岩で取り組むことによって成果を上げていきたいと考えている。

(了)